

取組④ JAXA部品認定制度の国際的な認知度向上等による輸出環境の改善

- JAXAの宇宙部品認定制度は国産の人工衛星に広く活用され、試験の省略等に寄与し、我が国宇宙産業の競争力強化に貢献している。しかし、海外での認知度が不十分。
- JAXA認定部品が米欧の認定部品と同等に扱われるよう、米国及び欧州における推奨部品リストへの掲載を進める。

課題①

JAXA部品認定制度が海外の関係機関や人工衛星メーカーに認知されていない。
そのため、認定部品を用いたコンポーネント等を海外に売り込む際、追加的な資料の提出を求められるなど、海外の認定部品と比較して不利な扱いを受けることがある。

JAXA認定部品の国際認知度の向上

米国（NASA）や欧州の推奨部品リストに、JAXA認定部品を掲載する。

課題②

JAXA認定部品制度を始め、我が国の部品・コンポーネントに関する各種の基準は、JAXAの宇宙機を念頭に策定されてきた。
商業衛星向けや、民生部品を活用することも十分に考慮した基準等になっているか、検討することが望ましい。

現状の確認・評価を実施

「部品認定制度調整WG（仮）」を本研究会の下に設置し、産学官による検討を行う。

取組⑤ 部品・コンポーネントの輸出拡大に向けた取組み

- 宇宙産業における好循環の実現には、人工衛星の輸出拡大に加え、部品・コンポーネントの輸出拡大も重要であり、官民による国際市場獲得に向けた取組を強化する。

□ 国及び関係機関が協力して、部品・コンポーネントの輸出拡大に向けた取組みを推進する。

- 官民連携による海外の各種展示会への出展（日本ブースなど）
- 海外の大手宇宙関連企業と我が国の部品・素材企業との交流会（Industry Day）の開催
- 海外営業の強化

□ 政府・JAXA衛星における採用実績の公表の可否を問い合わせることができる制度を整備する。

宇宙用部品・コンポーネントの海外での受注には、国内の人工衛星等での採用実績が求められることが多い。こうしたことから、国内の人工衛星等での採用実績をアピールできるよう、部品・コンポーネントのメーカーが、自社製品が日本政府及び関係機関の人工衛星等において採用されたことをアピールしたい場合、関係する政府機関等にその可否について問合せができる制度を整備する。

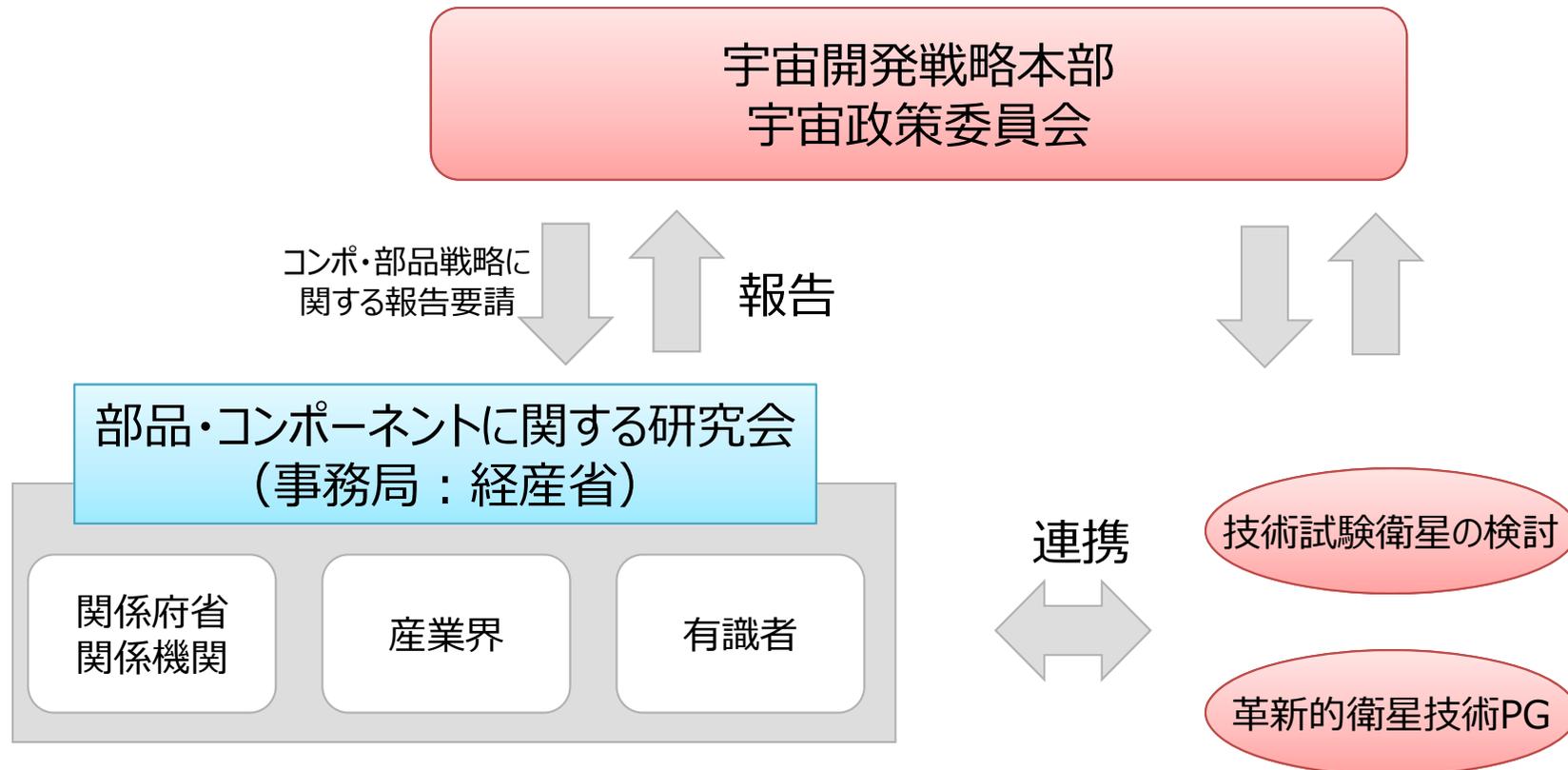
取組⑥ 自動車部品等の積極的な活用

- 我が国が強みを有する自動車部品等の活用を拡大できれば、人工衛星・ロケットの競争力を強化し、自立性を高めることができると考えられる。
 - まずは、耐放射線耐性への要求が比較的厳しくないロケットから活用を拡大し、その成果を人工衛星に広げていく。
-
- 今後開発が本格化するH3ロケットにおいて自動車部品等の活用拡大に向けた検討を進める。その後、その成果を活用し、人工衛星への分野への拡大を図る。
 - 例えば、以下のような手法について、今後精査する。
 - ✓ 民生部品の入手環境の整備・支援
 - ✓ 民生部品に関する情報の共有（データベースの作成・故障情報の共有など）
 - ✓ 民生部品を評価する地上試験設備の貸し出し・導入に対する支援
 - ✓ 自動車部品メーカー等が参入しやすい仕組み作り

取組⑦ PDCAサイクルのための運用体制の構築

- 部品及びコンポーネントに関する技術戦略（技術ロードマップ含む）については、その進捗状況をフォローするとともに、世界の需要動向・技術動向の変化などを踏まえて、定期的に見直し・改訂することが適当。（PDCAサイクル）
- 来年度以降も、産官学の有識者からなる研究会（経産省事務局）を継続し、本技術戦略の進捗状況をフォローするとともに、さらなる対策の必要性などについて検討する。

来年度以降の運用体制



引き続き検討すべき課題

① 超小型衛星（キューブサット含む）用の部品・コンポーネントについて

- 超小型衛星を活用したビジネスの活用の拡大が期待されているところ、民間・大学中心に多くの独自の発想により、部品・コンポーネントの開発が進められている段階であり、今回の検討では主な対象としなかった。これらの輸出拡大に向けた取組など、国として取り組むべきことがあるかどうかについて今後、検討する。

② 組み込みソフトウェアに関する取組のあり方について

- 複雑化するシステムを効率的かつ柔軟に制御するための組み込みソフトウェアの強化や、この開発・検証環境の整備も重要。我が国の状況把握し、取組のあり方について検討する。

③ 特許に関連する課題の精査について

- 我が国の宇宙関連の特許は国内への出願に比べて海外への出願が大幅に少ない。こうした傾向の背景について分析を行うとともに、秘密特許制度の必要性などを含め、幅広く特許に関連する課題を精査し、必要があれば対応を検討する。

④ JAXA認定部品制度などの各種基準等について

- JAXA認定部品制度を始め、我が国の部品・コンポーネントに関する各種の基準などについて、商業衛星向けや、民生部品の円滑な活用などを十分に考慮したものになっているか確認・評価するなど、検討を行う。

⑤ 部品のまとめ買いについて

- 現在、既に産業界において、企業ごと、プロジェクトごとに、できる範囲で一括調達等の工夫が講じられている。
- 現状の取組を超える、企業の枠を越えるまとめ買いについては、得られるメリットよりもさまざまなコスト（調整コスト、管理コスト、品質管理上の問題、調達活動の柔軟性の低下など）が大きいと考えられる。
- 当面、現状の取り組みを継続することが適当であり、部品等の入手環境の変化による必要性が生じた場合に改めて検討を行うこととする。

参 考